



## DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

### 決勝レポート

**2020/12/20 Rd-7 富士スピードウェイ**

天候：晴れ 気温：7℃ 出走台数：20 台

観客数：19 日(土) 5,300 人 20 日(日) 9,700 人 合計 15,000 人

2020 年最終戦を快晴で迎えた富士スピードウェイは、山本選手を含む 4 名のドライバーにタイトル獲得の可能性がある。

予選で 1 ポイントを加算した山本選手は、ポイントリーダーとして決勝スタートを迎えた。

レース前の 8 分間のウォームアップでは、1 台のマシンから出火があり赤旗中断。

レースはこの 1 台を除いた 19 台でフォーメーションラップが行われた。

そのフォーメーションラップ中にも、トラブルとスピンで 2 台が脱落、17 台がグリッドに並んだ。

迎えたスタートでは、山本選手は抜群の蹴り出しを見せたが、位置取り悪く 4 番手へドロップ。

福住選手は集団の中行き場なく 1 コーナーでブレーキをロック、大湯選手との接触もありフロントウィングにダメージを負ってしまう。

福住選手はピットインを余儀なくされ、フロントウィングを交換。最後尾でレースへ復帰した。

山本選手は、ドライバータイトル争いをする平川選手と序盤からお互いをけん制しながらの熱いバトルが続く。

平川選手は 14 周目にピットイン。これを見たチームは山本選手を翌 15 周目にピットへ呼び、7.6 秒のタイヤ交換で平川選手の前でコースへ送り出す。

お互いに先にフィニッシュしたほうがチャンピオンとなる山本選手と平川選手は、オーバーテイクシステムを使っての超接近戦を繰り返すが、山本選手は一步も引かず、ライバル平川選手との直接対決を制して 5 位でゴール。2020 年ドライバータイトルを決めた。

福住選手は、ファステストラップを記録しながら挽回を試みるも、16 位でレースを終えた。

ドライバーチャンピオンとチームチャンピオンのダブルタイトル獲得を目指した

DOCOMO TEAM DANDELION RACING は、全 7 戦の総合ポイントでは同点首位となる 84 ポイントを獲得したが、今季採用の 5 戦有効ポイント制では 72 ポイントとなり、2 位と同点ながら優勝回数の差でチームチャンピオンシップ 3 位となった。



## DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

### 5 : 山本選手 5 位 2020 年ドライバーチャンピオン

コロナの影響でシーズン事態開催が危ぶまれた時期もありましたが、チーム、協賛企業様、プロモーターの J R P やサーキットの努力と、何よりファンの声援のおかげで無事全 7 大会を終えられたことに感謝しています。

この状況の中、シリーズ 3 度目、スーパーGT と合わせての 2 度目のダブルタイトルを獲得することができて、非常にうれしく思っています。

昨シーズンは、福住選手とチームタイトルを取ることはできましたが、ドライバータイトルは取り逃がし、チームとしてダブルタイトルを取るという意気込みと努力とサポートも痛いほど伝わっていたので、ドライバーチャンピオンを獲得することが出来て良かったです。

チームのみんなで獲れたし、チーム、協賛企業様、ファンの声援と家族の支え、みんなに獲らせてもらったチャンピオンです。

### 6 : 福住選手 16 位 2020 シリーズランキング 8 位

レース自体は、車の速さもありながら接触で入賞できず、チームタイトル争いに貢献できなかったことが悔やまれます。

今シーズン、随所で速さを見せる事は出来たと思いますが、流れを掴めなかったというか、自分自身の強さが足りなかったですね。

チームはいつも強力にバックアップしてくれたし、山本選手からは色々なことを学ばせてもらいました。

最高の環境を準備してくれたチーム、コロナ禍の元サポート下さったスポンサーの皆様、ファンの皆様の応援に感謝し、さらに強くなって来シーズンに臨みます。